

意見陳述要旨

【政務活動費交付条例の
一部改正に関する請願について】

仙台市民オンブズマン事務局長
弁護士 島山裕太

- 請願の経緯・背景
- 請願の内容・実現可能性
- ネット公開のメリット

請願の経緯・背景

○市民フォーラム
「本当に必要な？その政活費」
(仙台市民オンブズマン主催 平成27年9月27日実施)

宮城県議会の会派及び4期以上の議員(30名)
の平成24年度の政務調査費を調査
【調査費用】 11万5810円(コピー代)

仙台市民オンブズマンと宮城県、当時の各会派代表との合意書(平成21年3月23日作成)には、平成21年4月以降、「政務調査費の手引(平成21年4月宮城県議会作成)」に従い運用する旨が明記されている。



請願の経緯・背景

【フォーラムにおいて確認したこと】

○「後払い方式」の機能不全

○「第三者機関」によるチェックの効果

○ネット公開による市民の監視が効果的

(アピール文)

請願の経緯・背景

○「公開」の意味・役割

見られている、という意識から襟を正す

⇒実際に市民が監視できないと効果がない

現在の制度で一般市民が監視できますか？

請願の内容・実現可能性

【政務活動費関係書類のインターネット公開】

収支報告書

実績報告書

会計帳簿 ※現在は各会派で保管(議長に提出しない)

証拠書類の写し(領収書等)

請願の内容・実現可能性

【インターネット公開の手順】

①政務活動費関係書類の提出
書式を基本的に A4 で統一

②PDFファイルの作成(複合機でソートする)

③ホームページ上に公開する

これだけ。

請願の内容・実現可能性

【コストについて】

○ホームページ掲載作業を県職員で行える場合、追加コストはほぼゼロ。

○ホームページにPDFをアップするにあたり、サーバーを増設したり、業者に委託する事務が増え、費用が増加(100万円程度) (大阪府)。

○公開の方向に工夫を加える場合、業者依頼が必要な場合はあり得る。

請願の内容・実現可能性

(ネット公開にあたり職員が困ったことなど)

○ 特になし。

強いて言えば、個人情報の保護のため、
領収書の黒塗り作業に気を遣う。
(これまでも同様)

10

請願の内容・実現可能性 (領収書等をインターネット公開している自治体)

【都道府県】

高知県 平成26年度分から公開(平成27年7月から)
(議員一人当たり月額28万円(会派分14万円、議員分14万円))

大阪府 平成26年度分から公開(平成27年7月から)
(議員一人当たり月額59万円(無会派は月額49万円))

兵庫県 会計帳簿は平成27年6月から
平成28年度からは領収書等も公開
(議員一人当たり月額45万円)

11

請願の内容・実現可能性 (領収書等をインターネット公開している自治体)

北海道 函館市
北海道 登別市
北海道 福島町(平成25年まで?)
北海道 鹿追町
山形県 川西町
福島県 須賀川市
茨城県 常陸太田市
埼玉県 富士見市
埼玉県 ふじみ野市
埼玉県 三芳町
埼玉県 嵐山町
埼玉県 杉戸町
大阪府 大阪市(政令指定都市)
兵庫県 西宮市
兵庫県 加西市
滋賀県 大津市

東京都 立川市
東京都 三鷹市
神奈川県 大和市
神奈川県 箱根町
福井県 小浜市
愛知県 刈谷市
愛知県 尾張旭市
奈良県 天理市
島根県 浜田市
島根県 益田市
福岡県 宗像市
熊本県 八代市
熊本県 水俣市

29

12

請願の内容・実現可能性

【まとめ】

導入は極めて容易

- 公開することに難しい作業は必要ない。
(職員の負担もあまりない。)
- コストもほとんどかからない。

ネット公開のメリット

【導入のメリット】

政務活動費の使い方を
誰もが、すぐに、簡単にみることができる。
⇒見られている、という意識から
適正な支出につながる。

ネット公開のメリット

- 政務活動費支出の透明性向上
「不信感」の払拭に大きく貢献
 - 工夫次第で議員、会派の活動の広報ができる
- 成果物の公表もできる？
現在、議員の約8割がホームページを保有
インターネットは当たり前の時代

最後に

以上
